

イングランド及びスコットランドにおける 文化芸術活動に対する 助成システム等に関する実態調査 報告書 [概要版]

● 本調査の報告書は以下のURLでご覧いただけます。

<https://www.ntj.jac.go.jp/kikin/artscouncil/research/2583.html>



報告書



- 【第1部 イングランド】
第1章：アーツカウンシル・イングランドの仕組み
組織、制度
第2章：アーツカウンシル・イングランドの制度を支えるもの
審査、モニタリングと事後評価、制度循環のカギ～RMの役割、調査研究とデータ、
政府との関係、これからの戦略
- 【第2部 スコットランド】
クリエイティブ・スコットランドの仕組み
CS概要、制度、調査研究、政府との関係

別冊 関連文献（日本語 [全訳]）



- 英国 文化・メディア・スポーツ省（現デジタル・文化・メディア・スポーツ省）
The Culture White Paper
カルチャー・ホワイト・ペーパー 2016年
- アーツカウンシル・イングランド 10年戦略
Great Art and Culture for Everyone
あらゆる人に素晴らしい文化芸術を 2013年
- クリエイティブ・スコットランド 10年計画
Unlocking Potential, Embracing Ambition
可能性の扉を開き、大志を抱く 2014年

資料編（日本語抄訳）

- アーツカウンシル・イングランド
ナショナル・ポートフォリオ助成プログラム2018 - 2021 年度 申請者用ガイダンス：バンド3 2017年
ナショナル・ポートフォリオ助成プログラム2018 - 2021 年度 バンド3団体のためのモニタリング・プロンプト 2017年
- クリエイティブ・スコットランド
2018 - 2020 年度レギュラー・ファンディング・プログラム申請ガイダンス 2017年

※本調査では、1ポンド=150円で換算しています。

イングランド及びスコットランドにおける文化芸術活動に対する助成システム等に関する実態調査報告書 [概要版]

【委託元】 独立行政法人 日本芸術文化振興会
〒102-8656 東京都千代田区隼町 4-1
<https://www.ntj.jac.go.jp/>

【受託先】 学校法人東成学園
（調査担当部署） 昭和音楽大学 舞台芸術政策研究所
〒215-8558 神奈川県川崎市麻生区上麻生 1-11-1
<https://www.tosei-showa-music.ac.jp/>

発行日 平成30年9月
*無断複写・転載はお断りします。



イングランド／スコットランドの文化政策を担う機関と各政府の関係

① DCMS

デジタル・文化・メディア・スポーツ省
(Department for Digital, Culture, Media & Sport [DCMS])

英国の内閣を構成する閣内大臣 (Secretary of State) が所掌する25の省 (Ministerial Departments) の1つである。2016年3月、文化芸術に関する今後の方針を示す『カルチャー・ホワイト・ペーパー』を公表した (本調査で全訳を作成、公開中)。

② ACE

アーツカウンシル・イングランド
(Arts Council England [ACE])

アーツカウンシル・イングランドは、政府外公共機関 (NDPB) の1つであり、デジタル・文化・メディア・スポーツ省 (DCMS) から交付金を受け、アームズ・レングス・ボディ (Arm's Length Body, ALB) の1つとして政府から一定の距離を置いて運営される。DCMSからの交付金のほか、国営宝くじ基金から拠出された資金、教育省からの資金を原資として、文化芸術団体の運営や事業に対し助成を行う。ACEはイングランドを5つのエリアに分けて所管し、それぞれにオフィスを置いている。

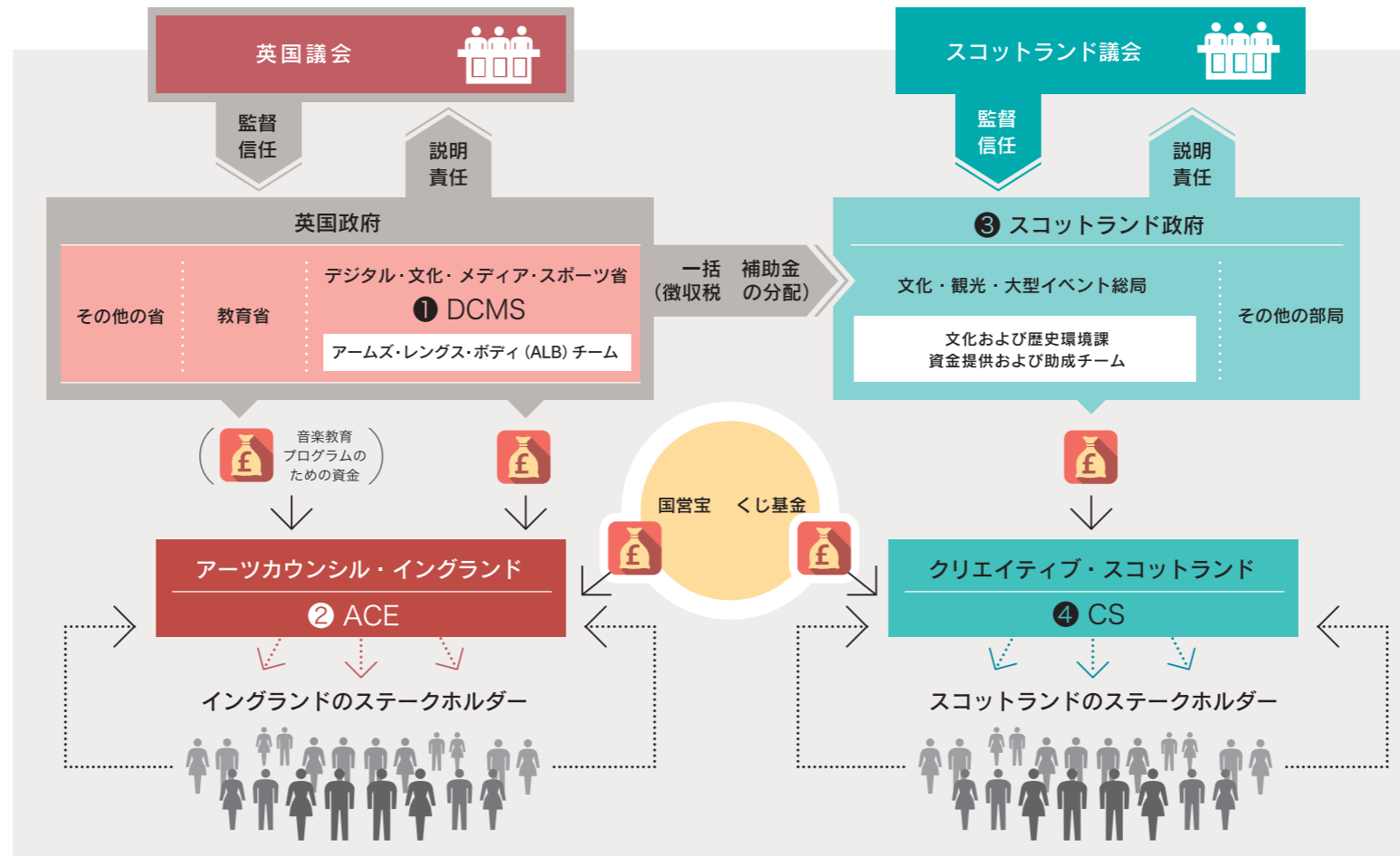
支援の対象：イングランドの芸術、博物館・美術館、図書館

10年戦略 (2010-2019年度)

『Great Art and Culture for Everyone』
(あらゆる人に素晴らしい文化芸術を)

5つの戦略目標 (goal)

- 戦略目標1：芸術、博物館・美術館、図書館において卓越性 (Excellence) が花開き、称賛されること
- 戦略目標2：あらゆる人が芸術、博物館・美術館、図書館を体験し、触発される機会を持つこと
- 戦略目標3：芸術、博物館・美術館、図書館がレジリエンスを有し、環境的に持続可能であること
- 戦略目標4：芸術、博物館・美術館、図書館のリーダー層および従事者層が多様であり、適切なスキルを有していること
- 戦略目標5：あらゆる子供と若者に、芸術、博物館・美術館、図書館の豊かさを体験する機会があること



③ スコットランド政府

スコットランド政府
(Scottish Government)

現在、英国議会が権限を留保している分野 (外交、防衛、安全保障、財政金融など) を除く、保健衛生、教育、交通、経済開発、医療、観光、文化、スポーツといった広範な分野において一次立法権を有している。同政府には36の総局があり、このうち文化政策を担当するのは文化・観光・大型イベント総局 (Culture, Tourism and Major Events Directorate) である。

④ CS

クリエイティブ・スコットランド
(Creative Scotland [CS])

クリエイティブ・スコットランドは、スコットランド政府からの交付金のほか、国営宝くじ基金から拠出された資金をもとに、スコットランドにおける文化芸術活動を支援する政府外公共機関 (NDPB) である。アーツカウンシル・イングランド (ACE) と同様、「アームズ・レングスの原則」に則り政府に対して一定の距離を置いている。

支援の対象：スコットランドの芸術、映像/映画、クリエイティブ産業

10年計画 (2014-2023年度)

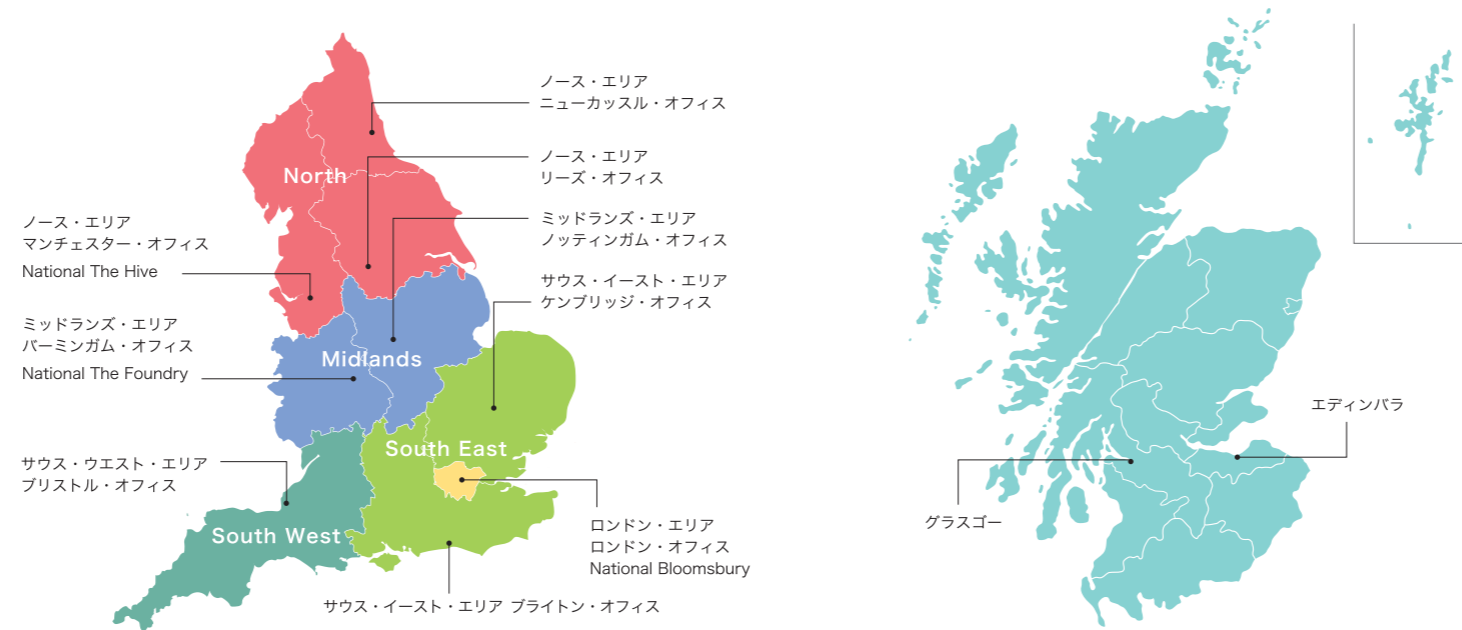
『Unlocking Potential, Embracing Ambition: a shared plan for the arts, screen and creative industries 2014 - 2024』

(可能性の扉を開き、大志を抱く)

5つのアンビション

- ① 芸術、映像/映画、クリエイティブ産業の3つのセクターで、卓越性と実験的な試みが認められ、評価されること
- ② あらゆる人が、芸術的でクリエイティブな世界にアクセスすることができ、楽しむことができること
- ③ 想像力とアンビションを持ち、創造性に秘められた可能性を理解することにより、場と生活の質を変えること
- ④ スキルを備えた多様な人々がつながりあい、リーダーとして、あるいは組織の一員として活動し、アイデアを実現すること
- ⑤ スコットランドがクリエイティブな国として際立ちつつも、世界とつながっていること

4つの統一テーマ [1] クリエイティブ・ラーニング (創造的学習) [2] 平等・多様性・包摂 [3] デジタル [4] 環境



アーツカウンシル・イングランドの組織 (ACE)

組織

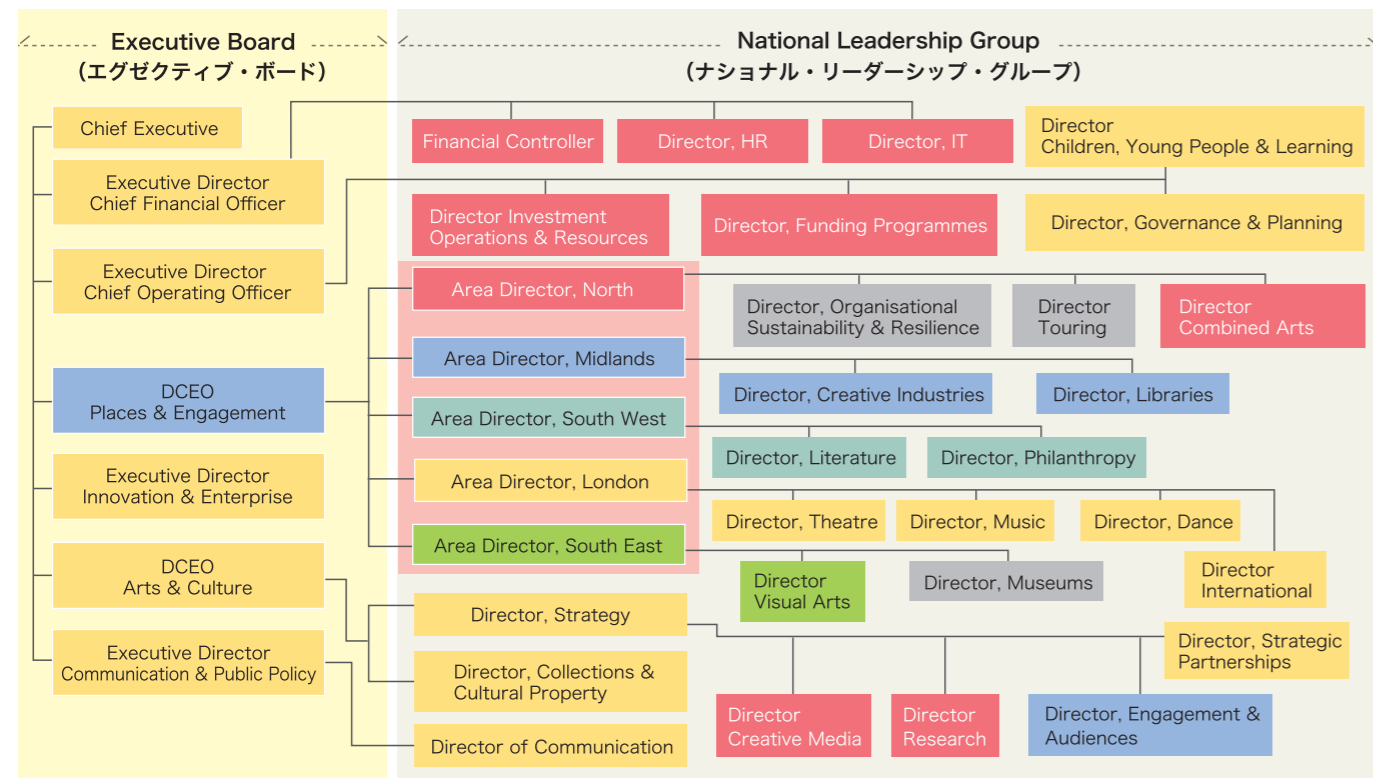
ナショナル・カウンシルとエリア・カウンシル

ACE のガバナンス（組織統治）に責任を負うのは、イングランド全域を管轄するナショナル・カウンシルと、5つのエリアそれぞれを所管するエリア・カウンシルという2種類の評議会である。ナショナル・カウンシルの会長（National Chair）が、ACE の最高責任者である。ナショナル・カウンシルとエリア・カウンシルは、ACE から独立した立場（non-executive）にある外部委員会として位置づけられている。

組織内のシニア・オフィサー（上級職）

- ACE の組織内における戦略面および管理面での意思決定の最高機関は、エグゼクティブ・ボードである。エグゼクティブ・ボードのトップであるチーフ・エグゼクティブが、ACE の運営責任者である。
- エグゼクティブ・ボードの構成員と、各部門や専門分野の責任者、およびコミュニケーションや HR（人材開発等）などの各領域の責任者であるディレクター職が、ACE のシニア・オフィサー（上級職）として位置づけられる。ディレクターは、ナショナル・リーダーシップ・グループ（National Leadership Group）とも総称される。

ACEのエグゼクティブ・ボードとナショナル・リーダーシップ・グループ組織図（役職掲載順は原資料ママ）



担当エリアの色
■ ノース・エリア（マンチェスター・オフィス）
■ ロンドン・エリア（ロンドン・オフィス）
■ ミッドランズ・エリア（バーミンガム・オフィス）
■ サウス・ウエスト・エリア
■ サウス・イースト・エリア

(DCMS 『Tailored Review of Arts Council England Annexes to Main Report』 2017 およびACEへのインタビュー（2018/04/24）を基に作成）

リレーションシップ・マネージャー（RM）

RMとは、ACEにおける専門人材で、①被助成団体とのコミュニケーション、②各種助成事業の審査への関わり、③各種助成事業のモニタリング、④申請者へのアドバイスを担当している。RMの数は、上級職であるシニア・リレーションシップ・マネージャーをあわせると、フルタイム換算で184名であり、ACEスタッフ全体の約半分を占める。各エリアへの配置は以下のとおり。

RMのポスト数は固定されているが、週当たりの勤務時間は個人の事情にあわせて柔軟に決められている。RMは自身の専門分野に関する深い知識以外にも、幅広い知識をカバーした「T字型人材」であることが求められる。

エリア別/専門別（※）のリレーションシップ・マネージャー数（ポスト数）

	ノース	ロンドン	ミッドランズ	サウス・ウエスト	サウス・イースト	合計
シニア・リレーションシップ・マネージャー（SRM）	9	8	4	4	4	29
音楽（Music）	7	7	5	1	4	24
ビジュアルアート（Visual Arts）	5	5	2	2	2	16
複合芸術（Combined Arts）	9	4	2	2	2	19
演劇（Theatre）	5	10	3	2	2	22
多様性（Diversity）	1	1	1	1	1	5
クリエイティブ・メディア（Creative Media）	2	1	2	1	1	7
子供、若者、学び（Children, Young People & Learning）	3	2	2	2	5	14
エンゲージメントとオーディエンス（Engagement & Audiences）	3	1	2	1	2	9
博物館・美術館（Museums）	5	1	2	1	2	11
ダンス（Dance）	2	2	3	1	1	9
文学（Literature）	2	3	1	1	1	8
図書館（Libraries）	1	1	1	1	1	5
ツアー（Touring）	1	1	2	1	1	6
合計	55	47	32	21	29	184

※ ■はACEが支援する部門（art form） ■は政策領域（policy area）
 (ACE マンチェスター・オフィスへのインタビュー（2018/04/27）より作成)

ACEと政府との関係

【マネジメント・アグリーメント】

イングランドにおいて、政府はその政策実施機関であるアームズ・レングス・ボディ（ALB）に対し交付金を拠出し、ALBは政府から独立して意思決定を行うことができる。交付金の具体的な用途に関してはALBに任せられているが、議会や国民に対する説明責任を担保するため、政府と所管のALBとの間での合意書「マネジメント・アグリーメント」が締結される。法的拘束力は持たないが、政策の優先順位、業績評価指標、政府とALBの役割分担、財務管理やガバナンスの枠組み、財務上限、さらに、政府とALBとのコミュニケーションの方法や頻度についても規定されている。ACEの場合DCMSと締結する。

【スタッフの雇用・任命】

ACEのスタッフの雇用や異動、任命には、DCMSからの関与は基本的でないが、ACEのナショナル・カウンシルの会長はDCMSの閣内大臣によって任命される。また、ACEの意思決定機関のトップであるチーフ・エグゼクティブは、DCMSの閣内大臣からの承認を条件として、ナショナル・カウンシルによって任命される。

【テイラード・レビュー】

政府からの資金により運営される組織（政府外公共機関 [NDPB] 等）に対し、その実績やガバナンスについて実施される評価。DCMSからACEに対しては、2017年4月に初めてのテイラード・レビューが公表された。なお、テイラード・レビューは組織の活動全体に対する評価であり、ACEの個別の助成事業に関してDCMSからの評価は行われていない。

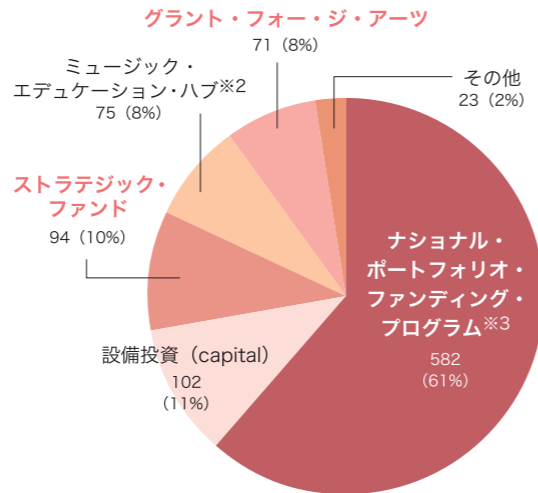
ACEの制度

3つの助成事業

- **運営助成**：ナショナル・ポートフォリオ・インベストメント・プログラム（2018年度～）。芸術団体（劇場などを含む）や博物館・美術館、図書館、さらにそれらの統括団体・ネットワークなどの運営を、4年間継続して支援する助成制度。ACEが10年戦略で掲げた戦略目標を達成するための核となる重要な投資である。
- **事業助成**：グラント・フォー・ジ・アーツ（～2017年度*1）。国営宝くじ基金からの配分金を原資とした、期間限定のプロジェクトを実施する個人・団体への助成である。募集期間を設けず通年申請を受けつけている。
- **戦略的助成**：ストラテジック・ファンド（～2017年度*1）。運営助成や事業助成ではカバーできない様々な課題に対応するため、個別に企画された事業助成プログラム群の総称。文化芸術セクターが直面している課題を解決するために、助成プログラムの目的や対象となる活動、助成額、助成期間、応募資格、募集期間などが柔軟に設計される。

*1 事業助成、戦略的助成とともに、2018年度から別名の後継事業が実施されている。

ACEの助成事業に対する支出の内訳（2017年度、単位：百万ポンド）



(ACE [Arts Council England, Grant-in-Aid and National Lottery Distribution 2017/18 Annual Report & Accounts] 2018, p.13 を基に作成)
 ※2 ミュージック・エデュケーション・ハブとは、教育省から資金を得て ACE が実施している音楽教育のハブ形成プログラムである。※3 運営助成の2017年度までの名称。

	運営助成	事業助成	戦略的助成
助成事業名	ナショナル・ポートフォリオ・インベストメント・プログラム (2018-2021年度) The National Portfolio Investment Programme 2018-2022	グラント・フォー・ジ・アーツ (～2017年度) Grants for the Arts	ストラテジック・ファンド (～2017年度) Strategic Funds
趣旨・目的	ACEが10年戦略で掲げた5つの戦略目標を達成するために、イングランドの文化芸術セクターを牽引する代表的な団体に対して行う投資	比較的小規模な助成を多くのプロジェクトに対して行うことで、個人・団体による単発プロジェクトや、キャリアの初期段階にあるアーティストや組織、文化芸術と人々を結ぶ活動をするグループなどを支援する	ほかの助成事業ではカバーできない様々な課題に対応するため、個別に企画された事業助成プログラム群の総称
支援する部門	音楽、演劇、ダンス、ビジュアルアート、文学、複合芸術、博物館・美術館、図書館	音楽、演劇、ダンス、ビジュアルアート、文学、複合芸術、博物館・美術館、図書館	助成プログラムによって異なる
支援する対象	団体（芸術団体、博物館・美術館、図書館、統括団体・ネットワークなど）	期間限定のプロジェクトを実施する個人・団体	助成プログラムによって異なる
年間事業予算	4億853万8,000ポンド (2018年度)	7,000万ポンド (2017年度)	1億2,500万ポンド (2017年度)
年間事業予算 (日本円換算)	約612億8,070万円	約105億円	約187億5,000万円
年間助成件数	843件 (2018-2021年度)	3,519件 (2017年度 [同年度2月時点])	助成プログラムによって異なる

(ACEの各種資料を基に作成)

申請のカテゴリ

ナショナル・ポートフォリオ・インベストメント・プログラムでは、助成額の規模による「バンド」という申請カテゴリの区分を導入している。比較的小規模の助成を受ける団体（バンド1、2）の事務的な負担を軽減すると同時に、最大規模の助成を受ける団体（バンド3）に対して求める事項をより多く、明確にするためである。

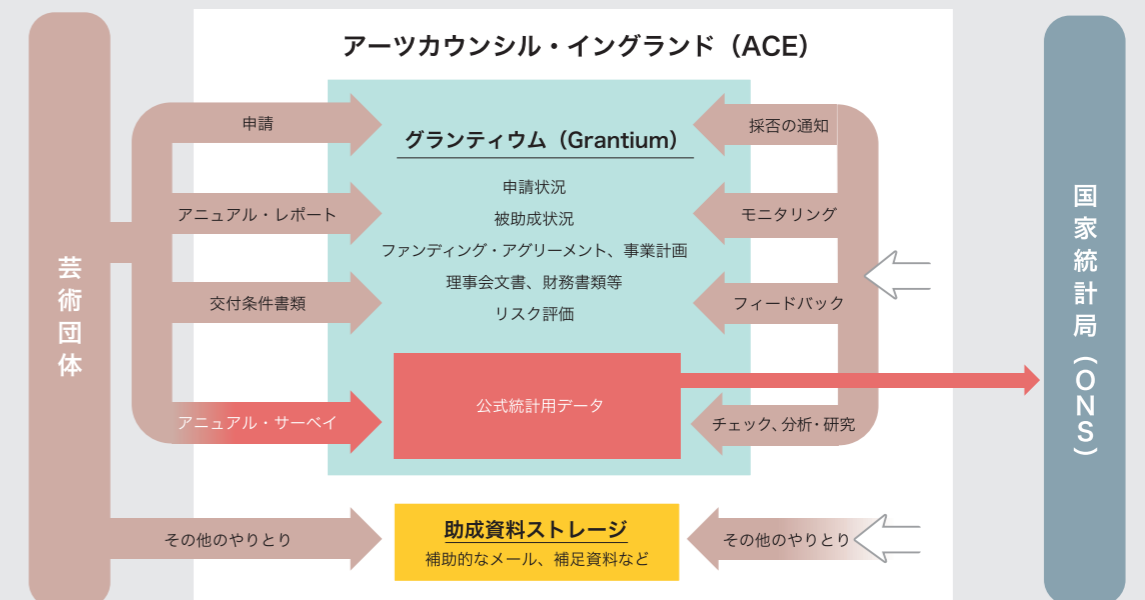
ナショナル・ポートフォリオ・インベストメント・プログラムの申請カテゴリ別要件

カテゴリ	年間助成額	貢献すべき戦略目標	ビジネスプランの提出	その他の要件
バンド1	4万ポンド以上 25万ポンド未満	戦略目標1と2、 さらに可能な場合は戦略目標5	助成期間のうち 最初の1年分	—
バンド2	25万ポンド以上 100万ポンド未満	戦略目標1と2、 さらに可能な場合は戦略目標5	助成期間のうち 3年分	—
バンド3	100万ポンド以上	5つの戦略目標すべて	助成期間4年 (全期間)分	セクターを牽引し 他団体の活動を支援する
セクター・サポート・オーガニゼーション	4万ポンド以上	少なくとも 1つの戦略目標	助成期間のうち 3年分	セクターへの 支援サービスの提供

(ACE [The National Portfolio Investment Programme: 2018/19 – 2021/22: Guidance for applicants: Introduction Guidance for Applicants: Introduction and Essential Information] 2016, pp16-17, を基に作成)

ACE助成管理システム「グランティウム (Grantium)」

2016年1月より導入されたウェブ上のACEの助成管理システム。団体からACEへの助成申請や交付条件に必要な書類の提出、ACEのRMから団体への助成金の採否決定の通知やフィードバックなど、両者のやりとりは原則すべてグランティウムを通じたデジタルデータの送付で行われる。また、RMと団体とのコンタクトの記録、リスク評価の結果などのモニタリングに関する情報も、すべてグランティウムに記録され管理されている。さらに、ACEがモニタリングの一環として団体から収集した公式統計用データは、グランティウムを経由して国家統計局 (ONS) に提出される。グランティウムには、ACEが実施するすべての助成事業の情報が一括して記録されているため、ACEはこのシステムを通じて、ある団体がACEのどの助成事業に申請しているか、または他団体の申請にパートナーとして関与しているかなどを把握することができる。また、被助成団体も、ACEに申請している自身のプロジェクトを一括管理することができる。

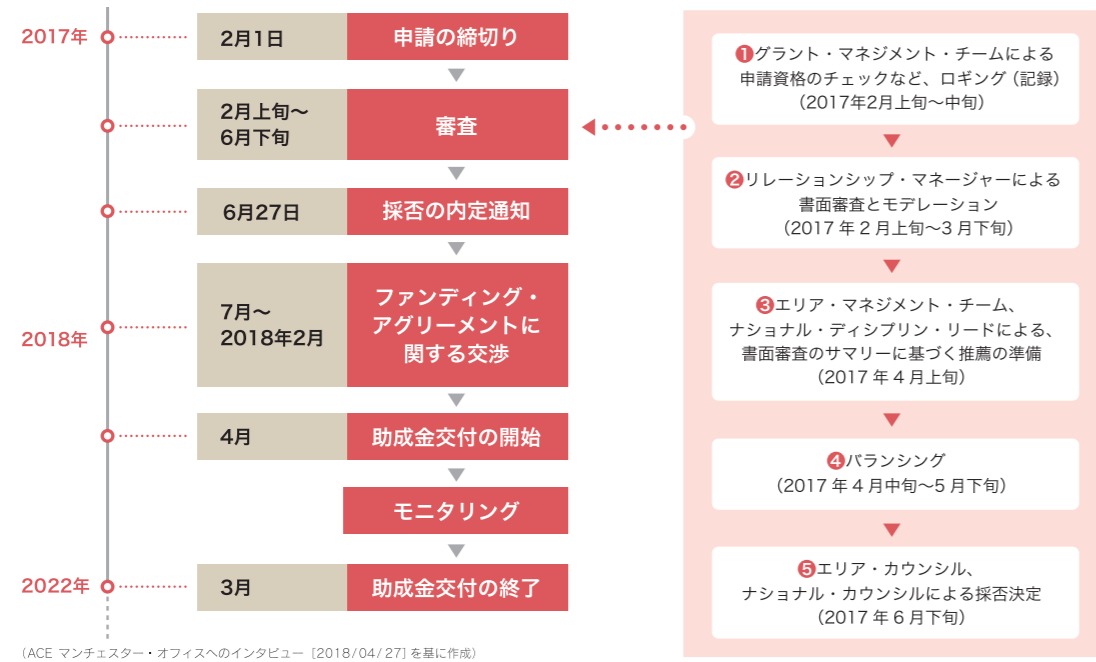


ACEの審査

○ ナショナル・ポートフォリオ・インベストメント・プログラムの審査

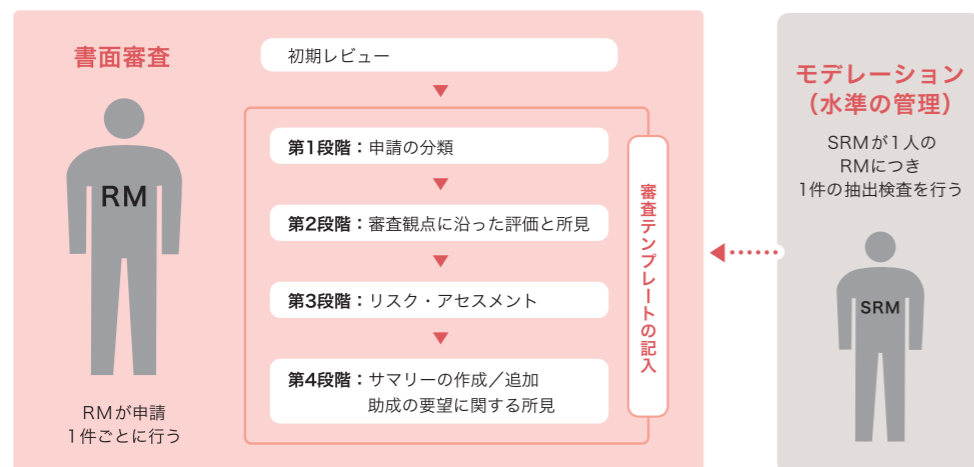
- 個々の申請内容を精査する「書面審査」と、交付先や配分の点で偏りがないよう全体のバランスを調整する「balancing」の2つの段階がある。
- 「書面審査」はリレーションシップ・マネージャー（RM）によって行われる。
- 「balancing」ではRMによる「書面審査」のサマリーを基に、採択を推奨する団体のリストを作成し、全体のバランスが調整される。「エリア・balancing」と「ナショナル・balancing」がある。
- 「書面審査」と「balancing」の結果を経て、最終的な採否決定を下すのは、ACEの統治を担う外部委員会、エリア・カウンシルとナショナル・カウンシルである。

○ 申請から決定までのフロー（2018-2021年度助成サイクルにおける選考の例）



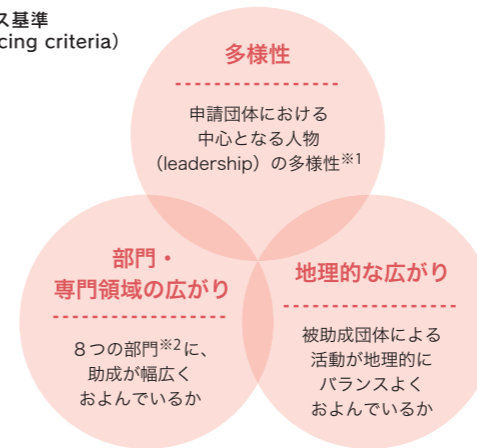
(ACE マンチェスター・オフィスへのインタビュー [2018/04/27] を基に作成)

○ RMによる書面審査の概要



○ Balancing

バランス基準 (balancing criteria)



「Balancing」には「エリア・balancing」と「ナショナル・balancing」がある。「エリア・balancing」では、ACEが所管する5つのエリアごとに、エリア・ディレクターやエリア内の各地域オフィスのディレクターなどから構成されるエリア・マネジメント・チームが結成され、balancingを実施する。「ナショナル・balancing」は、各部門・専門領域のリーダー、分野・領域横断的の視点を専門とするリーダーと戦略目標のリーダーが担当している。エリア・balancingおよびナショナル・balancingは、最終的な採否決定のプロセスを含め約3か月かけて行われる。

※1 これとは別に、申請された活動の参加者の多様性は、書面審査で評価される
 ※2 複合芸術、ダンス、図書館、文学、博物館・美術館、音楽、演劇、ビジュアルアート

ACEのモニタリング

○ ナショナル・ポートフォリオ・インベストメント・プログラムのモニタリング

ACEは、公的資金による投資の効果を把握するために、助成金の交付期間を通じて被助成団体であるナショナル・ポートフォリオ・オーガニゼーション（NPO）のモニタリングを実施している。以下にスケジュールを示したが、モニタリングではこのほか、ACEの専門スタッフであるRMとNPOとの継続的なコミュニケーション（NPO理事会への出席、活動視察、公式および非公式のコンタクトなど）が重視されている。

NPOのモニタリング・スケジュール（2018-2021年度、バンド3の場合※）

前年度の報告 (団体)			前年度の評価 (ACE)			反映 (団体)			次年度の計画 (団体)		
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
● 直近の理事会文書 ● 管理会計文書とキャッシュフロー計算書	● 直近の理事会文書 ● 管理会計文書とキャッシュフロー計算書	● アニュアル・サーベイ(公式統計用データ) ● 管理会計文書とキャッシュフロー計算書	● 直近の理事会文書 ● アニュアル・レポート(文書)	● 直近の理事会文書 ● 管理会計文書とキャッシュフロー計算書	● アニュアル・フィードバック・レター ● 管理会計文書とキャッシュフロー計算書	● 直近の理事会文書 ● 管理会計文書とキャッシュフロー計算書	● 直近の理事会文書 ● 管理会計文書とキャッシュフロー計算書	● 直近の理事会文書 ● 管理会計文書とキャッシュフロー計算書	● 直近の理事会文書 ● ビジネスプランの更新 ● 管理会計文書とキャッシュフロー計算書	● 直近の理事会文書 ● 管理会計文書とキャッシュフロー計算書	● 直近の理事会文書 ● 管理会計文書とキャッシュフロー計算書
第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		

※バンド1,2の団体は、この表よりモニタリング実施回数や要件が少ない。

● 団体からACEへの提出物・報告
○ ACEから団体への交付物

○ アニュアル・フィードバック・レター（事後評価）

ACEからNPOへの事後評価に相当するものが、RMによるアニュアル・フィードバック・レターである。すべてのNPOに対して、文書で、少なくとも年に1回発行される。評価項目は基本的に全NPO共通で、NPOの強み、成長分野、ACEの戦略目標に対する貢献や、現時点でのリスク評価などに関するRMの所見が、次年度のモニタリング計画とともに示される。

アニュアル・フィードバック・レターは、各NPOを担当するRMが1名のみで執筆する。NPOへの交付前に内容を承認するオーソライズのプロセスはないが、ACEが組織として示す公式な評価とみなされる。なお、交付はグラント上電子的に行われ、公開はされていない。

○ リスク・モニタリング

リスク・モニタリングは、助成金が適切かつ効果的に利用されるようマネジメントするため、RM によって少なくとも 13 週ごとに実施される。RM は、NPO が ACE と合意した助成条件を守れない可能性をリスク要因として特定し、各リスク要因について、「影響 (Impact)」と「可能性 (Likelihood)」のそれぞれに関するスコアを組み合わせることで重要度を評価する。

リスク要因の判定スコアに基づくリスク評価

		可能性					
		1	2	3	4	5	6
影響	5	Minor (小)	Moderate (中)	Moderate	Major (大)	Major	Major
	4	Minor	Minor	Moderate	Moderate	Major	Major
	3	Minor	Minor	Minor	Moderate	Moderate	Major
	2	Minor	Minor	Minor	Minor	Moderate	Moderate
	1	Minor	Minor	Minor	Minor	Minor	Moderate

(ACE マンチェスター・オフィスへのインタビュー (2018/04/27) を基に作成)

リスク要因の判定スコア

【影響】：NPO が助成条件を実行する能力に対する影響度

1: 小さい 2: やや小さい 3: 中程度 4: 大きい 5: 深刻

【可能性】：リスクの軽減策を踏まえた上で、NPO が助成条件を守れない可能性

1: 非常に低い 2: 低い 3: ややあり得る 4: あり得る 5: 高い 6: 非常に高い

○ 芸術性の評価

ACE は、NPO の芸術性に関するエビデンス収集の一環として、外部評価者による 2 種類の評価システムを用いている。RM が各 NPO の芸術性を評価する際には、これらのシステムのほか、RM 自身での作品鑑賞や活動参加、メディアなどの評価といった幅広いリソースをエビデンスとすることで、バランスをとっている。

芸術性と品質の評価 (Artistic and Quality Assessment)

おもにバンド 1 の NPO に適用される、ACE が公募を経て委任した外部評価者による評価システム。委任された外部評価者は、ACE が指定した NPO の作品や活動を鑑賞・体験し、共通のテンプレートを用いて報告を提出する。

インパクト&インサイトツールキット (Impact and Insight Toolkit)

バンド 2 と 3 の NPO が参加を義務付けられている評価システム。各 NPO は、このシステムにより評価を受けると同時に、スタッフをピア・レビュアーとして参加させ、自団体および他団体に対する評価を報告する。さらに、オーディエンスからの評価も反映される。このシステムにより、ACE と各 NPO は、標準化された一連の指標を用いた様々な視点からの評価を、デジタル・プラットフォームを通じて収集、分析、共有することができる。

クリエイティブ・スコットランド (CS)

○ 組織とスタッフ

CS の最高意思決定機関は理事会であり、CS の運営全体に目を配り、方針決定を行っている。理事会は、理事長を筆頭に、11 名で構成され (2018 年 8 月 7 日現在)、スコットランド政府によって任命される。理事会の下にチーフ・エグゼクティブ・オフィサーが実務の責任者として置かれ、その下には、シニア・リーダーシップ・チームが配置されている。CS の各部署に配置されたスタッフの人数をフルタイム換算したものが右図である。

CS のスタッフ数 (2015-2016 年度)

部署別平均雇用者数 (フルタイム換算)	2015 年度 (人)	2016 年度 (人)
アートとエンゲージメント	29.3	30.7
映像/映画	12.5	12.0
クリエイティブ産業	6.1	7.5
戦略	10.4	9.5
執行部	6.4	7.0
コミュニケーション	11.9	13.1
経理および助成事業運営	21.2	20.8
人事および庶務	7.9	8.5
	105.7	109.1

(CS [Annual report and accounts: For the year ended 31 March 2017] 2017, p.21 を基に作成)

○ 3つの助成事業

	運営助成	事業助成	戦略的助成
助成事業名	レギュラー・ファンディング Regular Funding	オープン・プロジェクト・ファンディング Open Project Funding	ターゲットド・ファンディング Targeted Funding
趣旨・目的	スコットランドの芸術、映像 / 映画、クリエイティブ産業に対して安定的な財政支援を実施することにより、CS のアンビション、統一テーマ、および戦略的な優先事項を実現する	個人や団体に対して、その芸術的・創造的な潜在能力を掘り起こして開花・発展させることを助け、世界とつながる特色ある創造的な国としてのスコットランドの評判を高めるプロジェクトへ支援する	文化芸術に関する個別のセクターや地域が持つニーズへの対応を目指し、CS がスコットランド政府などの他機関とともに戦略目標を達成することを 1 つの目的として実施する
支援する部門	音楽、演劇、ダンス、ビジュアルアート、文学・出版、多分野芸術、工芸、映像 / 映画	音楽、演劇、ダンス、ビジュアルアート、文学・出版、多分野芸術、工芸、映像 / 映画	プログラムによって異なる
支援する対象	団体	期間限定のプロジェクトを実施する個人・団体	プログラムによって異なる
年間事業予算	3,410 万 4,534 ポンド (2018 年度)	1,050 万ポンド (2018 年度)	2,064 万 2,063 ポンド (2018 年度)
年間事業予算 (日本円換算)	約 51 億 1,568 万円	約 15 億 7,500 万円	約 30 億 9,631 万円
年間助成件数	121 件 (2018-2020 年度)	518 件 (2016 年度)	プログラムによって異なる

(CS の各種資料を基に作成)

○ 政府との関係

CS は政府外公共機関 (NDPB) としてスコットランド政府と戦略的に連携することが求められており、具体的な役割分担と責務は、両者の間で交わされた合意文書「フレームワーク・ドキュメント」に定められている。